

スクール・サポートスタッフを配置する学校における働き方改革の取組状況について

1 スクール・サポートスタッフ配置事業について

スクール・サポートスタッフ配置事業は、教員が本来の教育活動に専念できるよう、専門性を必要としない業務を教員に代わって行うスクール・サポートスタッフを配置することにより、教員の業務負担の軽減を図るとともに、教員が児童生徒への指導や教材研究等に注力できる体制を整備し、学校教育活動の充実につなげることを目的とする事業です。

2 配置校（配置人数・年間業務従事時間）

西郷義務教育学校（1名・800時間）

3 具体的な取組状況

- 学習プリントや配付文書等の印刷
- 各種事務処理の補助
- 環境整備
- 各種行事の準備・片付け
- 授業準備の補助
- 来客対応

4 取組による成果等

- 教職員が子どもに向き合う時間が増加した。
- 教職員の時間外勤務時間を縮減することができた。

【令和6年9月の時間外業務時間の内訳（教職員29名）】

45時間未満・・・28名

45時間以上80時間未満・・・1名

5 今後期待される成果等

スクール・サポートスタッフをより効果的に活用した業務の効率化を図ることで、教員が子どもと向き合う時間を今以上に確保し、支援の充実や学校生活・学習活動等がさらに向上することが期待されます。